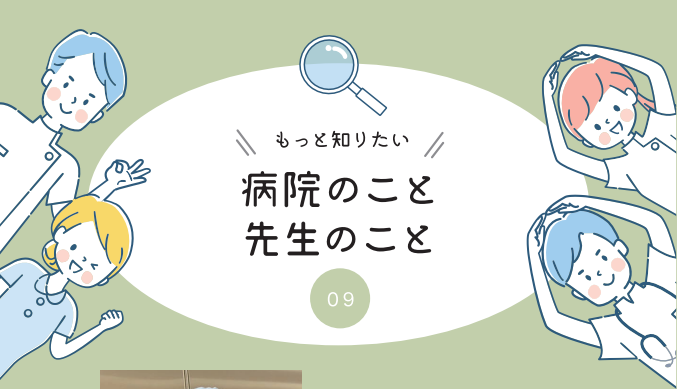




もっと知りたい 病院のこと 先生のこと

09



高杉 遥 先生

外科医師

1 病院のココが自慢

患者様に近い位置で医療が提供できていると思います。

2 患者さんと接する時に大切にしていること

可能な限り早く元の日常に戻れるように気を配っています。

3 医師になろうと思ったきっかけは？

医師にはなんとなくでなりました(笑)が、研修中に会った外科のDr.に憧れて外科に進みました。

4 もし、医師になっていなかったら？

インディージョーンズ

5 先生が実施している健康法は？

インスタでアフリカ人と一緒に走っています。

6 当院に期待すること

地域の拠点病院として、多くの患者様を紹介して頂けるようになって欲しいです。

7 どっち？

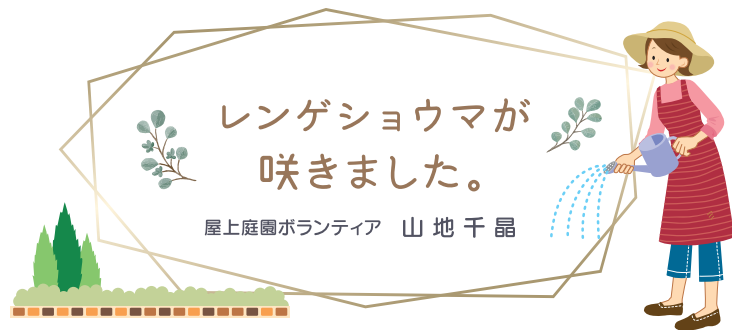
朝食は	犬派	猫派
	和食	洋食
休日	インドア派	アウトドア派

8 好きなもの(こと) Best3！

- 1 USJ (年パス持ってます！)
- 2 ファミリーキャンプ
- 3 古着屋

9 フリースペース

地域の皆様の健康を支えられる様外科診療に励んで参ります。お困り事ありましたらお気軽にご相談下さい。



屋上庭園ボランティア 山地 千 晶

6階屋上庭園の一角に、涼しい風の吹きわたる木陰があります。ヤマアジサイや山野草が葉っぱを重ねる、谷間のような一角。そこにいつのまにか、かぼそい花茎がすすると立ち、鈴のようなつぼみがつきました。

「これって、何の花？」と患者さん。
「たぶん、レンゲショウマのつぼみだと思います。」
「レンゲショウマ？」

「標高500～1000メートルくらいの深山の希少植物です。うすむらさきの蠟細工のような花が咲き、『山野草の貴婦人』とよばれたりもします。おとし、このあたりに、苗植えたような気がします。」
「つぼみ、いつ開くんでしょう？」
「いつでしょう。育てるの初めてなんです。」

それから屋上庭園にくるたびにつぼみをのぞき、まだまだ咲かない、こんな暑さでは咲かないかもしれないと、そんな日々が流れていきました。

患者さんも、朝、庭園へのドアがひらくのを待ちわびて見に来られ、つぼみに「今週金曜日に退院するんだから、それまでには咲いてちょうだいね。」と言い聞かせたりされていました。

入れかわり立ちかわり、何人もの患者さんが、つぼみに「退院までには咲いてよ。」「まだまだやね。今度、診察にくるとき、見に来るけんね。」「がんばって咲くんよ。」と語りかけ、レンゲショウマの開花を待ち望んでいらっしゃいました。

つぼみがついて、2か月がたったころでしょうか。

ホースからほとばしる飛沫の向こう。

7月の朝日に明るむ、小さなパラソルのようなものが。

丸いつぼみが、くす玉のように割れて、どこにしまってたか分からないほど大ぶりの花がうつむいていました。

それは、開花というより、羽化ともよびたい美しさでした。

「レンゲショウマが！」。

思わず上ずった声に、ベンチから駆け寄って来られる患者さんたち。

「ああ、咲いた！〇〇さんにも知らせてあげんと。」

こんなに暑い夏をのりきって咲いたというのに、『山野草の貴婦人』は、うすむらさきのパラソルをふわっと傾け、「なんでもありませんことよ」とほほえんでいるかのようでした。



独立行政法人 国立病院機構

四国こどもととなの医療センター

〒765-8507 善通寺市仙遊町 2-1-1 TEL 0877-62-1000 <https://shikoku-mc.hosp.go.jp>
交通機関 ▼善通寺 I.C より車で 5 分 ▼JR 土讃線善通寺駅下車徒歩 25 分

発行日 / 令和 7 年 12 月 1 日
発行者 / 前田 和寿
編集委員 / 広報委員会



2025.12
vol.46

四国こどもととな

<https://shikoku-mc.hosp.go.jp>

独立行政法人 国立病院機構

四国こどもととなの医療センター

こもれび通信

Shikoku Medical Center for Children and Adults®

光と影、人物と植物、バランスを保ちながら循環する命の恵が、全ての人をこもれびのようにやさしく包み込みますように…

四国こどもととなの医療センター附属

善通寺看護学校 通信 VOL.2



誓いの言葉

人を大切に 誠実に向き合い 責任感を持つことで
信頼関係を築きます
小さな変化に気づける観察力を身につけて
一人ひとりの価値観や思いに寄り添い 行動します
常に学ぶ姿勢を大切にし 自己成長できるよう
挑戦し続けます



10月31日に第29期生の誓いの式を行いました。誓いの式は、看護専門職としての責任を自覚し、看護師を目指す決意を新たに、大切な式です。

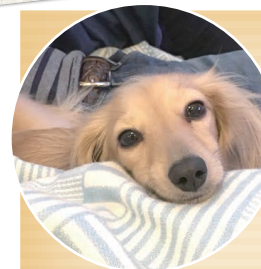
ナイチンゲールはランプの貴婦人とも呼ばれ、クリミア戦争中に小さな灯を手に夜間に病院を巡回し傷ついた兵士たちの看護を行いました。その後、近代看護の母と称されました。第29期生は、ナイチンゲールの言葉(ナイチンゲール誓詞)を斉唱し、そのうえで、この詞の意味を読み解き、第29期生としての誓いの言葉を創り上げ、ナイチンゲールからいただいた、大切なキャンドルの灯に誓いました。今日の誓いを胸に、これからも1月の臨地実習に向けて、知識と技術を磨いていきます。

この誓いの式の様子は、11月4日の四国新聞に掲載されました。



小児科医師 岡田隆文さん

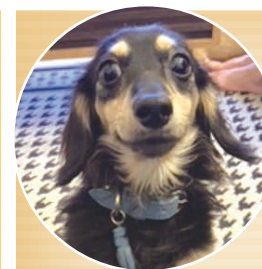
我が家の家族 ペットのご紹介



なまえ
るる

9歳
女の子

種類：カニンヘンダックスフンド
体重：3.0kg



なまえ
はる

7歳
男の子

種類：カニンヘンダックスフンド
体重：3.2kg

たくさんのご来場ありがとうございました！

ただいま！

当日運営スタッフ集合

病院フェスティバル

EXPO

四国こどもととなの医療センター

～ 脈々とつながる地域と病院 ～

病院フェスティバル 6年ぶりの開催

病院フェスティバル実行委員会

小児外科 浅井 武

わくわく・ドキドキ

学びがいっぱい！

エントランス

このたび、当院最大のイベントである「病院フェスティバル」を6年ぶりに開催いたしました。コロナ前までは毎年行っていた行事ですが、久しぶりの実施となった今回は、実行委員も一新し、テーマを大阪万博にならって「EXPO in 四国こどもととなの医療センター」として、一から準備を進めてまいりました。

当日は朝まで雨が残り心配されましたが、開場前には無事に天気回復し、多くの方にお越しいただくことができました。

今年はキッチンカーが初出し、軽食を楽しむ来場者の姿が見られました。屋外では、警察・自衛隊・消防による車両展示、ヨーヨー釣りや綿あめ、スタンプラリーなどがにぎわいを見せ、玄関では大きなバルーンアートが皆さまをお迎えしました。また、



院内の壁には診療科や病棟をはじめ、日頃は目に触れる機会の少ない各部門の紹介ポスターを40枚以上掲示し、当院の活動を幅広く知っていただく機会となりました。

1階外来では、看護師体験、病理検査体験、放射線科による体験イベント、手浴、絵手紙づくりなど、多彩なブースが並びました。別会場では、手づくり帽子的ワークショップも行われました。中央ステージでは、善通寺自衛隊音楽隊および善通寺第一高校吹奏楽部の皆さまによる演奏に続き、シャボン玉ショーが披露され、大いに盛り上がりました。

上階では、手術室体験、調剤体験、赤ちゃんの入浴体験など、こどもから大人まで楽しめる体験型企画を多数実施し、どの会場も終日多くの方で賑わいました。午後からは市民公開講座として、麻

酔や大腸内視鏡について分かりやすい解説が行われ、学びの時間にもなりました。

最終的な来場者数は1100名以上に達し、参加された皆さまから「とても楽しかった」とのお声を多数いただきました。運営側にとっても、皆さまの笑顔に触れられる大変貴重な機会となりました。

数か月にわたり準備に携わってくださった実行委員の皆さま、前日準備から当日運営までご協力いただいた関係者の皆さま、そして何より、ご来場いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

久しぶりの開催ということもあり反省点もございますが、来年度はより内容を充実させ、さらに楽しんでいただけるイベントとなるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



附属看護学校音楽クラブ演奏



細胞
もぐらたたき
ゲーム



エコ
体験



血圧測定、手浴、絵手紙作成



院内
スタンプラリーと
綿あめ・
ヨーヨー釣り